

令和7年度 大阪府立伯太高等学校運営協議会 第3回議事録

日時：令和8年2月7日（土）10：00～11：30

記録：阪口

○協議会委員参加者（敬称略）

西田 義正 （大阪公立大学教授）
山野 正弘 （和泉市総務部 人権・男女参画室長）
田中 恒子 （地域教育相談員）
富永 順三 （ナレッジパートナー株式会社代表）
植 正人 （PTA会長）

○学校教職員参加者

佐保田 真一 （校長）
門内 順子 （教頭）
山本 勝利 （事務長）
阪口 亮 （首席）
中島 邦公 （進路指導部長）
黒田 義浩 （生徒指導部長）

<次第>

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 令和7年度学校経営計画の評価
- 4 令和8年度 学校経営計画の概要
- 5 生徒異動報告
- 6 進路指導について
- 7 生徒指導について
- 8 本校の教育活動に関する意見交換

【3. 令和7年度学校経営計画の評価】

- ◇若干未達成の箇所もあるがおおむね達成している。
- ◇中期的目標2(1)【学校教育自己診断（生徒）の「授業では騒いだり私語したりする生徒はほとんどいない】について、調査項目を精査し、この項目を削除。
- ◇夏期休業中の教員対象の企業研修(2日程度)を実施する点について、進路指導主事、中小企業同友会会長と進め方を協議。
- ◇学校教育自己診断については全体的に肯定的な回答が高くなった。「学校が楽しい」「クラスが楽しい」という割合はもともと高く維持できている。保護者の方も肯定的な回答がやや上昇した。
- ◇授業関連では、特に生徒の肯定的回答割合が増加。先生方のいろんな授業の工夫が実を結んでい

る。

◇伯太高校を選んだ理由で、「総合学科だから」「自宅から近いから」の割合が高い。「総合学科だから」という理由が高くなっているのはすごくありがたい。

◇本校には系列が5つあり、夢や目標がもち、チャレンジしたいという生徒が少し増えてきている。

【4. 令和8年度 学校経営計画の概要】

◇現時点で目標を達している項目で若干数値は変更あり。

◇中期的目標2のところを変更を加えた。

◇遅刻数の目標については、令和6年度なみに戻す。

◇教職員の働き方改革において教育庁の指示により、大阪府教育委員会として時間外在校時間が720時間以上の超える教職員はゼロを目標とした。そこで、年間の時間外在校時間720時間を超える教職員をゼロにするとの目標を記載。

◇伯太高校では720時間超えの教員はいない。

◇時間外在校時間720超過を0にすることが必須。

◇本校は360時間超過人数は、令和5年度は22人、令和6年度は18人、令和7年度は現時点で8人。

【5. 生徒異動報告】

◇令和6年度の異動状況を報告。

◇転学先は近隣の私学通信制が多い。

◇転学する生徒において、学び直し支援金等の制度上の関係で本校を退学している場合があるが、すぐに編入学しているため学びは継続されている。

◇年度途中での異動はほとんどない。

◇異動した生徒が転学先で自己肯定感を取り戻して、とても意欲的に頑張っているとの報告もある。

◇転入してくる生徒もいる。今年度は2年生で1人、1年生で1人転入あり。伯太に来たいと言って、転学してくる。

【6. 進路指導について】

◇進路未決定者には働きかけを継続。ハローワークにも登録して学校でも支援している。

◇自己開拓での活動もあり。

◇卒業後は6月までは指導が可能。

◇求人数が増えているため、本人が選ばなければ割と決まりやすい。

◇大手企業等規模の大きいところもある。今まで本校生徒がお世話になっている企業や新規の企業もある。

◇進路指導研究会の情報で就職の一時内定率が低下している話があるが、本校は微増。

◇入社試験について基礎学力に課題あり。

◇自筆でない書類による応募が可能になっている。ただ、自筆でないところは内定率が下がっていく。面接時に自分の書いたことが頭に入っていない可能性が高い。本校では手書きに今年はこだわった。

◇来年度以降は企業から自筆でない書類の作成を求められる可能性があるためやや心配。

- ◇看護系の専門学校が入りやすくなっている。
- ◇大学へは指定校でほぼ決定。
- ◇総合型入試で決めるため、決定後の学校でのモチベーション維持が課題。

【7. 生徒指導について】

- ◇頭髪指導について、スムーズにいくケースもある。注意をすると直してくる生徒もいる。
- ◇自転車の通学マナーに課題がある。
- ◇制服の着用についての乱れがある。中学校時代から体操服登校が影響している可能性もある。
- ◇懲戒については喫煙事象が多い。外部施設からの通報もある。

【8. 本校の教育活動に関する意見交換】

- ◇入学者選抜の志願者数について。